

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図帳を活用することで、地域同士のつながりや社会の広がりや児童に意識させることができた。
- ・仕事や行事に従事している大人の工夫や願いを考える活動を通して、いろいろな人が関わっていることに気付くことができた。
- ・単元に合わせた本や資料を教室の前に用意することで、主体的に調べたりまとめたりして学習に取り組む姿が見られた。

(2) 課題

- ・社会の用語、地名を忘れてしまっている児童がいるため、確実に定着できるよう丁寧な指導を続ける必要がある。
- ・資料を正確に読み取る力に課題があるため、資料を読み取った事実から更に考えたり想像したりできるような活動を設定する必要がある。
- ・学習をまとめることに課題のある児童が多いため、学習のまとめ方の基礎を身に付けられるよう指導する必要がある。また、自分なりの工夫をしたり意見を書いたりして、読む人を引きつけさせる工夫をできるようにする必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第4学年	・思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度は目標値を上回っているが、知識・技能の観点で大田区の目標値を下回っている。		
第5学年	・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の全ての観点で大田区の目標値を下回っている。	・知識・技能、思考・判断・表現は大田区の目標値を下回り、主体的に学習に取り組む態度は、大田区の目標値をわずかに上回っている。	
第6学年	・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の全ての観点で大田区の目標値を下回っている。	・大田区の目標値に対し、知識・技能は下回り、思考・判断・表現は上回っている。主体的に学習に取り組む態度は、ほぼ同値である。	・3つの観点全てにおいて、大田区の目標値を下回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値をわずかに下回った。 ・安全な暮らし（火事）、工場の仕事はおおむね理解できている。 ・各単元の基礎知識の定着（地図記号の全般的な理解、税金）に課題がある。 ・市の人口変化の資料の読み取りに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値をわずかに上回った。 ・工場の仕事の工夫について考えることができています。 ・年表資料に着目して移り変わりをとらえることに課題がある。 ・資料を正確に読み取ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値をわずかに上回った。 ・仕事の工夫について資料をもとに考えている。 ・資料をもとに発表したりグラフにまとめたりすることに課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回った。 ・数量についての資料を読み取れている。 ・ごみ対策の理解に課題がある。 ・日本の周辺の地理についての理解、情報産業の理解に課題がある。 ・各単元での重要語句が十分に押さえられていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回った。 ・複数の資料から、それぞれ内容の特色、変化などを読み取ることはある程度できるが、複数の資料を関連付けることに課題がある。 ・学習したことをまとめることに課題のある児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回った。 ・授業では、意欲的に学習に取り組んでいるが、既習の知識を活かして工夫を考えることに課題がある。 ・各単元に、興味関心をもつ児童が多いが、調べてまとめ、深める学習活動につなげることに課題がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間地図帳を活用して四方位や都道府県の位置を確実に理解できるようにする。 ・地図記号は大田区など都市部の記号に偏らないようにし、日本全国を意識して多様な記号を理解できるようにする。 ・身近な人々の仕事について、工夫していることを確かめる。 ・グラフや表の数値を確実に捉えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が事前に資料から何を読み取らせたいのかを確実にして児童に資料を提示し、児童がめあてに沿った問題解決学習をできるようにする。 ・児童が資料から読み取った内容を学級全体で共有できるようにし、資料から読み取るべき内容を全児童が理解できるようにする。 ・人々の工夫や人々の願いについて書いたり考えたりする学習を行い、児童が自分で考える力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用して実際の動画を提示したり、写真を示したりして、児童が毎時間興味をもって学習できるようにする。 ・めあてに沿って自分で調べたりまとめたりする活動を行い、学習問題の答えを自分で見付ける力を高める。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に必要な知識を確実に指導して知識の定着を図る。 ・ICT を活用して理解を深めたり、学んだことを映像と結び付けたりすることで、内容を定着させる。 ・学習で出てきた地名や場所は必ず地図帳で確認させる。 ・資料を読み取る際の観点を明確にし、児童が何を読み取ればよいか、見通しをもたせて活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報を、比較・関連付けさせることで、問題を解決する活動を設定する。 ・社会科用語や単元の重要語句を使ってまとめや振り返りを書く活動を取り入れ、まとめを友達と交流することで、表現する力を高める。 ・働く人の工夫や、先人の考え・政策がなぜ行われたか考える活動を行い、思考を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より、新聞やインターネットで時事問題に触れることのできる時間をつくる環境を整え、社会的事象への関心を高める。 ・社会科の学習に関係する本をいつでも手に取れるように教室に用意したり、デジタル教科書の資料や動画等のICTを活用して学習を進めたりすることで児童の意欲を継続させる。